

2026年9月28日
SAIMEMORY 株式会社
新光電気工業株式会社

SAIMEMORY と新光電気工業、 次世代メモリー技術「ZAM」の研究開発および商用化 に関する基本合意書を締結

SAIMEMORY 株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長 兼 CEO：山口秀哉、以下「SAIMEMORY」）と新光電気工業株式会社（本社：長野県長野市、代表取締役社長 CEO：倉嶋 進、以下「新光電気工業」）は、高密度・広帯域・低消費電力を特長とする次世代メモリー技術「ZAM（Z-Angle Memory）」の研究開発および商用化に関するパートナーシップの構築に向けて、基本合意書（以下「本基本合意」）を締結しました。

本基本合意に基づき、SAIMEMORY と新光電気工業は、次世代メモリー技術「ZAM」の研究開発から製造技術の確立、さらには将来の商用化までを見据えた長期的な協力関係を構築して、日本発の革新的な次世代メモリー技術の社会実装を目指していきます。

SAIMEMORY は、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）が実施する「ポスト 5G 情報通信システム基盤強化研究開発事業／先端半導体製造技術の開発（補助）」※において、代表事業者として高密度・広帯域・低消費電力を実現する革新的な次世代メモリー技術「ZAM」の研究開発を推進しています。この次世代メモリー技術「ZAM」により、大規模な AI モデルの学習や推論処理を必要とするデータセンターなどにおける、大容量かつ広帯域なデータ処理や処理性能の向上、消費電力の削減の実現に向けて取り組みます。

新光電気工業は、半導体パッケージの総合メーカーとして長年にわたり培ってきた半導体パッケージ基板の設計・製造技術および高密度実装技術をもとに、SAIMEMORY とのパートナーシップを通じ、次世代メモリー技術「ZAM」の研究開発および商用化に向けた実装技術と製造技術の確立に取り組めます。

SAIMEMORY の代表取締役社長 兼 CEO である山口秀哉は、次のように述べています。

「AI の進化に伴い、高性能かつ低消費電力な次世代メモリーへの期待はますます高まっています。今回、新光電気工業と研究開発から商用化までを見据えたパートナーシップの構築に向けて合意できたことを大変心強く感じています。両社の技術と知見を融合して、日本発の革新的な次世代メモリー技術『ZAM』の実用化を加速するとともに、国内外の市場で競争力があるメモリー技術の確立を目指していきます」

新光電気工業の代表取締役社長 CEO である倉嶋進は、次のように述べています。

「さらなる AI の進化やデジタル化の進展において、メモリー技術はその基盤となる重要なテクノロジーの一つです。今回、革新的な次世代メモリー技術『ZAM』の研究開発を推進する SAIMEMORY と、研究開発から商用化までを見据えたパートナーシップの構築に向けて合意できたことを大変喜ばしく思います。SAIMEMORY と当社が力を合わせ、日本が培ってきた技術と知見を結集することで、次世代メモリーの社会実装を推進し、AI をはじめとする先端デジタル社会の発展に貢献してまいります」

※ 実施内容・採択テーマについての詳細は、下記のウェブサイトをご覧ください。
https://www.nedo.go.jp/koubo/IT3_100361.html

- このプレスリリースに記載されている会社名および製品・サービス名は、各社の登録商標または商標です。